取扱説明書

保証書付

ステレオデジタルボイスレコーダー

品番 ICR-PS185RM ICR-PS182RM 本体操作編

お買い上げいただきましてありがとうございました。ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、後々のために大切に保管してください。

- この取扱説明書は「保証書付」です。「お買い上げ日」「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失した利益、ご使用に要した費用または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。

⃠「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

⚠ 警告

■ 分解・改造しない

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が 5℃未満、または 35℃を超える場所では使用しないでください。湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでの録音はノイズが入りますので避けてください。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

注意

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

電池について

⚠ 注意

■ 電池は正しく入れる

注意

電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。
間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ ショートさせない

禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。
電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない

禁止

長時間（1 週間程度）使用しないときは電池を取り出しておいてください。
電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 使用しているときに電池を抜かない

禁止

本体を使用しているときには電池を抜かないでください。
データが壊れたり、故障の原因になります。

■ 録音内容を消去するときは、電池残量の確認をする

注意

録音内容を消去するには、電池残量表示を確認してください。
消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら
すぐに録音をやめて、新しい電池に交換してください。

電池が液漏れしたとき
液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について
放送や MD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

必ずお読みください

本機の使用中､万一何らかの不具合により､録音の失敗および録音内容 (データ) の損失を防ぐために
1. 録音前には必ず試し録音をしてください。
2. 録音データを他の機器にバックアップしてください。
3. 電池の残量が充分にある電池をお使いください。
本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の保障はいたしません。

登録商標についての注意

- Microsoft、Windows Media™ および Window Ⓡ ロゴは米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Windows Media™ Player は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- その他､本書で登場するシステム名､製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、Ⓡマークは明記していません。

■時計表示について
本機の時計表示は､長い期間使用していると誤差が生じる場合があります。
定期的にカレンダー設定をされることをおすすめします。
また､タイマー予約録音をする前には､時報などで正確な時刻を設定してください。

☞ 23ページ参照

※本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

付属品を確認する

箱から出して揃っているかお確かめください。

●ステレオデジタルボイスレコーダー本体………… 1

●単 4 アルカリ乾電池 ……………………………… 1
●本書（保証書付）…………………………………… 1
●かんたん操作ガイド………………………………… 1

●インナーイヤー型
　ステレオヘッドホン ……………………………… 1

●専用 USB 接続ケーブル …………………………… 1

メモ

●付属の電池はモニタ用ですので寿命が短いことがあります。
●本機ではリモコン付きなどの 4 極プラグ端子ステレオヘッドホンは使えません。

関連商品について

- デジタルボイスレコーダーをより便利にご使用いただくための別売品のご紹介

デジタルワイヤレスマイクシステム HM-W300

「飛距離」「音質」「サイズ」全てが新次元！
世界最小・最軽量※1
高音質デジタルワイヤレスマイク
※1：2007年11月21日現在、ステレオマイク搭載/バッテリー内蔵のワイヤレスマイク商品として（当社調べ）。

タイピン式ステレオマイク

胸ポケットに入れたまま録音でき、鞄に入れてマイク部だけを出して録音する時などに効果を発揮します。

ステレオ 3WAY マイク HM-250

電話録音、バイノーラル録音、ポケット録音に対応した多機能3WAYマイク

USB 対応 AC アダプター D-5V-USB2

安全保護回路搭載。
AC駆動が可能になります。

準備

本機でできること

2GB(PS185RM)、1GB(PS182RM)メモリ内蔵

2GB（PS185RM)、1GB（PS182RM）のメモリを内蔵することにより、ステレオ録音で合計最長約141時間(PS185RM)、約70時間(PS182RM)の録音が可能です。また、PCM録音の場合は約3時間(PS185RM)、約1時間30分(PS182RM)の録音が可能です。

☞ 28ページ

録音機能

■リニアPCM※1録音/MP3録音

リニアPCM録音に対応し、CDと同じ録音形式で録音できます。

☞ 31ページ

● リニアPCM※1録音とは

アナログ信号である音声を一定の周期でサンプリングし、デジタル信号として保存することを言います。

音楽CD（CD-DA：CD Digital Audio）は、PCM（サンプリング周波数44.1kHz、量子化16ビット、ビットレート1411kbps、周波数特性20～20000Hz）で録音されています。PCM録音は、デジタルデータで記録された音声に何の加工も加えないため、音質が最も優れています。

PCM録音されたデータをパソコンで取り込む形式を「WAVE」(「ウェブ」「ワブ」）などと呼びます。データ拡張子は「.WAV」です。Windows標準の音声ファイル形式で、Windows Media Playerでの再生が可能です。MP3、WMAなどの形式は、このリニアPCMを圧縮したものです。

※1リニア(非圧縮) PCM：Pulse Code Modulation

音楽再生機能

■音楽ファイル再生機能

パソコンから音楽ファイルを本機に転送することにより、本機をミュージック プレーヤーとして使用することができます。

☞ 51ページ

データ転送機能

■高速データ転送機能

本機とパソコンをUSB2.0接続することにより、エクスプローラーで高速データ転送が可能です。

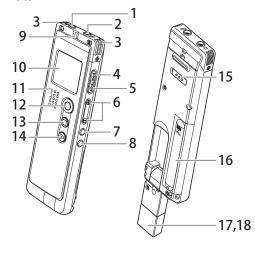
☞パソコン編

■USBフラッシュメモリー機能

パソコン上のビジネス文書やプレゼン資料を本機に保存することができます。

☞パソコン編

各部のなまえ

■本体

1 ステレオヘッドホン端子

ステレオヘッドホン端子です。

☞ 録音内容をモニターする 40ページ
☞ 外部機器へ録音(バックアップ)する 85ページ

2 ステレオマイク端子

ステレオマイク入力端子です。

☞ ステレオ外部マイクを利用する 40ページ
☞ 外部機器の音声を録音する 86ページ
☞ 電話の音声を録音する 87ページ

3 内蔵マイク

本機で録音するときのステレオマイクです。

☞ 会話などを録音する 37ページ

4 ▶▶▎ボタン

ファイル送り、早送り操作に使用します。また、メニュー設定画面では、メニューアイテムの選択ボタンとして使用します。

☞ 基本操作 14ページ

5 ▎◀◀ ボタン

ファイル戻し、早戻し操作に使用します。メニュー設定画面では、メニューアイテムの選択ボタンとして使用します。

☞ 基本操作 14ページ

6 音量ボタン（＋、－）
再生中や録音モニタ中の音量を調整するときに使用します。音量は21（00～20）段階まで設定できます。
☞ 音量を調整する 48ページ
☞ 集音機として使用する 76ページ

7 消去ボタン
ファイル、フォルダの消去操作を行います。
☞ 消去 59ページ

8 フォルダ／リピート／インデックスボタン
フォルダの切換や、リピート再生(5秒リピート・一曲リピート・フォルダーリピート・ランダムリピート)、インデックス作成に使用します。
☞ フォルダの切換 27ページ
☞ 5秒前リピート再生する 56ページ
☞ リピート再生する 57ページ
☞ 録音中にインデックスをつける 39ページ

9 録音LEDランプ
LEDランプが点灯して、本機が録音中である事をお知らせします。
☞ 会話などを録音する 37ページ

10 液晶パネル
本機の様々な情報を表示します。
☞ 液晶パネル 13ページ

11 スピーカー
再生中の音が出力されます。ヘッドホン接続中はスピーカーから音は出ません。

12 録音ボタン
録音開始、録音一時停止を行います。
☞ 基本操作 14ページ

13 停止／メニューボタン
録音や再生を停止します。また、停止中に2秒以上長押しすることで、メニュー設定画面に切り換わります。
☞ 基本操作 14ページ
☞ 設定操作（メニュー）のあらまし 78ページ

14 再生ボタン
ファイルの再生を開始します。また、メニュー設定画面では、メニュー選択を決定します。
☞ 基本操作 14ページ
☞ 設定操作（メニュー）のあらまし 78ページ

各部のなまえ(つづき)

15 電源/ホールドスイッチ
電源の入/切を行います。また、再生中や録音中にはホールドスイッチ(誤動作防止機能)として働きます。
☞ 電源を入れる/切る 20ページ
☞ ホールドON/OFF 22ページ

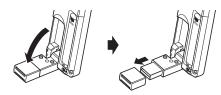
16 電池ぶた
電池を交換するときには電池ぶたを開けてください。
☞ 電池を入れる/切る 20ページ

17 USB端子保護カバー
USB端子を保護するためのカバーです。
☞ USB端子保護カバーの外し方 12ページ

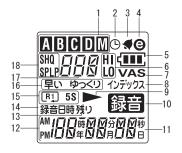
18 USB端子
本機をパソコンやUSB ACアダプターと接続するときに使用します。
☞ パソコンと接続する パソコン編
☞ AC動作モード(外部電源)で使用する 17ページ

■USB端子保護カバーの外し方

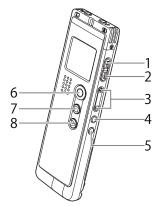
1 突起部に指をかけ、USB端子を少し浮き上がらせる

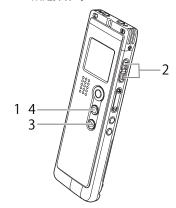
2 USB端子を後方に起こし、USB端子保護カバーを外す

メモ 取り外した USB 端子保護カバーは、紛失しないように注意してください。

■液晶パネル

［すべての画面を一度に表示することはできません］

1 フォルダ名表示（A, B, C, D, M）
2 タイマー表示
3 アラーム表示
4 充電池（エネループ）表示（ⓔ）
5 電池残量表示
6 マイク感度表示（HI, Lo）
7 音声起動録音（VAS）
8 インデックス表示
9 再生表示（ ▶ ）
10 録音表示（録音）
11 設定/再生時間表示など
12 AM/PM表示
13 残り時間表示（残り）
14 録音日時
15 リピート/5秒前リピート再生表示
16 再生スピード表示（早い、ゆっくり）
17 設定/ファイルNo.表示など
　（PCMモードは"P"と表示されます）
18 録音モード表示（SHQ, HQ, SP, LP）
　（PCMモードは表示されません）

基本操作

■録音と再生操作時

1 早送り/次のファイルに移動
2 早戻し/一つ前のファイルに移動
3 音量
4 消去
5 フォルダ切換/リピート/インデックス
6 録音/一時停止
7 停止
8 再生

■メニュー設定操作時

1 メニューモードに入る(2秒以上長押し)
2 メニューアイテムを選択
（I◀◀ 戻る方向 / ▶▶I 進む方向）
3 メニュー決定(単押し)
4 前に戻る/メニュー設定を終了

電池を入れる

電源を入れた状態で電池の交換をしないでください。故障やファイルが壊れるおそれがあります。

メモ
- 本機はお買い上げ時に音声ガイドの設定が「On」になっていますので各種操作時には音声ガイドで案内します。操作に慣れるまでは、音声ガイドが「On」の状態でのご使用をおすすめします。
  ☞ 82 ページ「設定する - ビープ音設定」

1 電池ぶたをあける

2 電池を入れて電池ぶたを閉める

● ⊕、⊖の向きを間違えないでください。

■電池残量表示

多い　　　　　　　　　　　　　　少ない

電池残量表示が ▭ を点灯したら、新しい電池に交換する

● 電池が切れると"Lo bATT"と表示後､液晶パネル表示が消灯し､自動的に電源が切れます。

- 電池残量がほとんどない状態でも、一度電源を切った後に再び電源を入れると、実際の電池残量よりも多い状態を表示することがあります。この時、録音や予約録音をすると、電池残量不足のため途中で録音が終了され、電源が切れることがありますのでご注意ください。

準備

つづく

電池を入れる（つづき）

使用可能な電池について

- ボイスレコーダー本体の電源は単 4 アルカリ乾電池を推奨いたします。当社のエネループ（eneloop）など充電式ニッケル水素電池での使用も可能ですが、電池の持続時間はアルカリ乾電池に比べて短くなります（目安として約 70% 程度です）。当社のエネループ（eneloop）など、充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池設定を変更してください。設定を変更しないと本機の電池残量表示が正しく表示されない場合があります。（☞ 84 ページ「電池設定」）
なお、オキシライド電池の使用も可能ですが、電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。

電池持続時間について（アルカリ乾電池）

- 連続録音時間
［MP3］（SP モード、ステレオ時）… 約 14 時間
［PCM］ ……… 約 11 時間
※録音 LED：「OFF」、録音モニターなし時
- 連続再生時間（ヘッドホン再生時）
［MP3］（SP モード、ステレオ時）… 約 12 時間
［PCM］ ……… 約 12 時間
- 連続再生時間（スピーカー再生時）
［MP3］（SP モード、ステレオ時）…… 約 9 時間
［PCM］ ………約 9 時間
※マンガン、ニカド電池は使用可能時間が著しく短くなる場合がありますので、ご使用はおすすめできません。

- 周囲の温度や使用状況などにより電池残量の表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。
- 温度が 5℃～ 35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使いきった電池は各地方自治体の指示（条例）に従って処分してください。

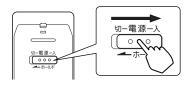
AC 動作モード (外部電源) で使用する

外部電源を使って、本機を動作させせることができます。

パソコンで使用する

1 電源「切」の状態で[再生]ボタンを押しながら本機をパソコンのUSB端子へ接続する

● "HELLO"が表示されます。

2 電源スイッチを「入」側にする

• 電源「入」の状態で接続すると、通常の USB 接続とります。AC 動作モードにはなりません。

• パソコンから電源を供給して使用する場合の連続録音時間は 1 ファイルにつき最大 6 時間です。
• 録音可能時間が 6 時間未満の場合は録音可能時間終了時に自動で録音が終了します。
• PCM モードで録音した場合、メモリ容量がなくなるまで録音できます。

準備

つづく

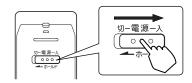
AC 動作モード (外部電源) で使用する（つづき）

USB ACアダプター(別売品)で使用する

1 **USB ACアダプターをコンセントに差し込む**

2 **電源「切」の状態で[再生]ボタンを押しながら本機をUSB ACアダプターへ接続する**

● "HELLO"が表示されます。

3 **電源スイッチを「入」側にする**

- 電源「入」の状態で接続すると、AC 動作モードにはなりません。

メモ

- USB AC アダプター使用時の連続録音時間は 1 ファイルにつき最大 6 時間です。
- 録音可能時間が 6 時間未満の場合は録音可能時間終了時に自動で録音が終了します。
- PCM モードで録音した場合、メモリ容量がなくなるまで録音できます。

本機をパソコンやUSB ACアダプターから取り外す

1 停止状態で本機を取り外す

- 録音中や再生中など、本機の操作中は絶対に取り外さないでください。
- 再生中、録音中、ファイル消去中及びフォーマット中に本機を取り外すと、接続しているボイスレコーダーのメモリが壊れるおそれがあります。
- AC動作モードでの1ファイル当たりの最大録音時間は6時間です。
- 本機の使用中及び、不適切な使用や停電などにより生じた損害、逸失した利益、または修理でのデータ消去に伴う事項が発生しても、補償に関しては当社では一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

1 電源スイッチを「入」側にする

⇨「HELLO」表示後電源が入り、前回電源を切る前に選ばれていたファイルが表示されます。（レジューム機能）

オートパワーオフ機能により自動的に電源が切れた場合は、電源スイッチを一度「切」側にした後、「入」側に切り換えてください。（工場出荷時はオートパワーオフ機能が「On」になっています。）

■購入後初めて電源を入れた場合

●カレンダーを設定してください。☞ 23 ページ

電源を切る

1 再生や録音などが停止した状態で、電源スイッチを「切」側にする

⇨"byE"と表示された後、電源が切れます。

レジューム機能

電源を切る前に選択していたファイル番号と、再生を停止させた位置を記憶しています。次に電源を入れたときは同じ位置で停止していますので、続きから再生を開始することができます。

- 下記の動作をおこなうとレジューム機能は解除されます。
  - フォルダの切り換え
  - パソコンに接続

メモ

- 電源が入った状態で約 15 分間放置すると自動的に電源が切れます（オートパワーオフを「On」に設定時）。☞ 84 ページ
- 録音一時停止中に、15 分間放置すると録音中のファイルを保存した後、電源が切れます（オートパワーオフを「On」に設定時）。☞ 84 ページ
- オートパワーオフ機能により自動的に電源が切れた場合は、[電源] スイッチを一度「切」側にしてから、再度「入」側にしてください。
- 工場出荷時はオートパワーオフ機能「On」に設定されています。
- 本機を何も操作しない停止状態であっても、電源が「入」になっていると電池を消耗しますのでご注意ください。
  電源の切り忘れを防ぐには、オートパワーオフ機能を「On」に設定することをおすすめします。☞ 84 ページ

ホールド ON/OFF

誤動作を防止する（ホールド）

1 **再生中や録音中、[電源/ホールド]スイッチを [ ]の方向に切り換える**

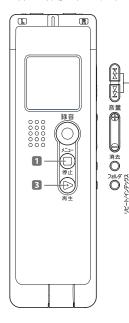
⇨“On HoLd”と表示され、各ボタンが機能しなくなります。

● ホールドONの状態で操作ボタンを押しても、“On HoLd”と表示するだけで各ボタンは機能しません。

● ホールドONの状態でスイッチを「入」側にすると、“OFF HoLd”と表示されホールドが解除されます。

メモ
- 本機をカバンやポケットに入れているときなどは、誤動作防止のためにホールド設定することをおすすめします。
- ホールド ON の状態で録音や再生が終了すると、自動的に電源が切れます。

カレンダー（日時）を設定する

- 日付と時刻を設定しておくと、″録音した日と時間″の情報が、ファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理が容易になります（タイムスタンプ機能）。

1 **VOICE（A～D）フォルダを選択した状態で、停止中に[停止/メニュー]ボタンを2秒以上長押しする**

⇨メニュー選択画面を表示します。

dIVIdE

2 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して「dATE」を選択する**

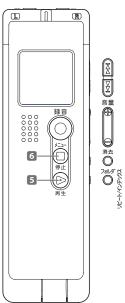
dATE

3 **[再生]ボタンを押す**

⇨日時設定画面を表示します（西暦表示が点滅しています）。

4 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して西暦を設定する**

準備

カレンダー（日時）を設定する（つづき）

5 [再生]ボタンを押す

⇨西暦が決定し、次の月表示が点滅します。

● 同様の操作で、月、日、12/24時間表示、時、分を設定します。

● 最後に「分」を設定した後、[再生]ボタンを押すと、日時が設定されます。

● 日時設定操作を途中で中止したい場合は、設定中に[停止/メニュー]ボタンを2回押します。

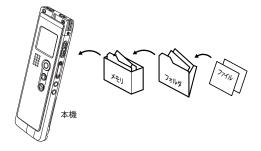
6 設定が完了したら、[停止/メニュー]ボタンを押す

⇨もとの停止状態に戻ります。

メモ
• 電池を抜いた状態が約 5 分続くと、日時が保持されない場合があります。そのときは再設定してください。
• 長い期間使用していると、時刻表示がずれることがありますので、そのときは再設定してください。

フォルダについて

■本機のフォルダ/ファイルについて

1回の録音単位を「**ファイル**」、ファイルを入れておく場所を「**フォルダ**」と呼びます。本機には複数の（A、Bなど）「**フォルダ**」が用意されており、「**ファイル**」は「**フォルダ**」に収納されて本機に内蔵されている「**メモリ**」に保存されます。

●**ファイル**

録音操作（録音→停止）をするごとに作成されます。（録音順に1、2、3…とファイル番号が付きます。）

●**フォルダ**

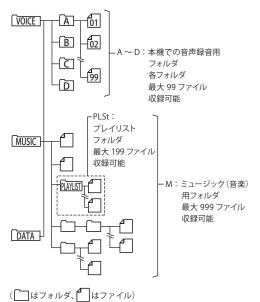
A→会議、B→英会話のレッスンなど、用途に応じてファイルの収納場所を分ければ、あとから必要なファイルを探しやすくなります。

●**メモリ**

メモリ内をどう整理するか（どのフォルダを使うか、各フォルダにファイルをいくつ入れるか）は、メモリ内の最大録音時間、最大ファイル数を超えない限り、自由に設定できます。

フォルダについて（つづき）

■本機のフォルダ構成について

（　はフォルダ、　はファイル）

■フォルダとファイル

● VOICE（A ～ D）フォルダ

マイク録音用フォルダです。本機でマイク録音した音声ファイルは、ここに保存されます。VOICEフォルダ内にはA ～ Dの4つのフォルダが用意されており、たとえば会議はＡフォルダ、英会話はＢフォルダのように使い分けるとデータ管理に便利です。

１回の録音単位をファイルと呼び、選んだフォルダに録音するごとに、ファイルが１、２、３・・と順次作成されていきます。消去操作をしない限りファイルは消えません。

● MUSIC（M）フォルダ

Mフォルダはパソコンから取り込んだファイル（MP3、WMA形式）を再生するフォルダです。Mフォルダに音声の録音はできません。
Mフォルダの階層について☞55ページ

● DATAフォルダ

本機からは見えません。本機をパソコンに接続したときに見ることができます。
ワードやエクセルなどのファイルを入れて、本機をUSBフラッシュメモリー（リムーバブルディスク）として使うためのフォルダです。

■フォルダの切り換え

[フォルダ]ボタンを押すごとに、下図のようにフォルダが切り換わります。

A → B → C → D → M

■ファイル名について

本機で録音したファイルには、以下の構成で自動的に名前がつきます。

メモ PCM録音したファイルのファイル形式は”WAV”となります。
例：IC_A_001.WAV

- 何度録音しても上書きはされず、各ファイルは消えません。
- VOICE（A ～ D）フォルダでは、各録音モードの最大録音時間とは別に、本機で録音できる最大ファイル数は 1 つのフォルダにつき 99 ファイルとなります。録音残時間が残っていても、100 以上のファイルを録音することはできません。100 ファイル目を録音しようとすると “FULL” と表示されます。空いているフォルダに切り換えるか、不要なファイルを消去してください。（☞ 59 ページ）
- 本機で記録した MP3 または、WAV ファイルの名前をパソコンで変更した場合、本機で再生できなくなります。左記のファイル名規則に沿ったファイル名に戻してください。MP3 ファイルの場合は、そのままのファイル名で MUSIC フォルダに移すと再生できます。WAV ファイルは、M フォルダでは再生できません。

録音について知っておきたいこと

■録音のコツ

- 録音場所の状況によって(風が強いなど)録音状態が異なりますので、事前にためし録音をして、適切な録音モードや感度を選択してください。
- 録音中に本体やボタンに手が触れると不要な音が録音される場合がありますのでご注意ください。

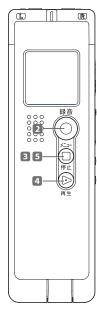
■録音モードと録音可能時間

録音可能時間とは、お買い上げ時の何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合の最大合計時間です。
録音モードによって音質と録音可能時間が変わります。工場出荷時は「SP」ですが、用途に応じて録音モードを変更してください。
☞31ページ

録音モード	用途	A～Dフォルダの合計時間	
		PS185RM	PS182RM
PCM	楽器練習の録音などに(圧縮変換をおこなわないため、原音をより忠実に録音します。)	約3時間	約1時間30分
SHQ	楽器練習の録音などに	約35時間10分	約17時間20分
HQ	高音質での会話録音に	約70時間30分	約35時間
SP	標準音質での会話録音に	約141時間	約70時間
LP	長時間の会話録音に(モノラル)	約282時間	約140時間

用途は一例です。

- 本機は会話などの音声録音を主目的とした機器であり、音楽を録音した場合は状況によって音割れなどが発生することがあります。
  本格的な音楽録音をする場合は専用の音楽録音機器のご使用をおすすめします。
- 長時間にわたる連続録音 / 再生の場合、途中で電池の交換が必要な場合があります。
- メモリ節約のため、必要なデータはパソコンや外部機器などに保存し（☞ 85 ページ、パソコン編）、不要になったファイルを消去することをおすすめします。(☞ 59 ページ）
- 口述録音の場合は、マイクを口元から約 10cm 離して録音してください。近づきすぎますとノイズの原因になります。

いますぐ録音してみる

1 **本機の電源を「入」にする**

☞20ページ

2 **[録音]ボタンを押す**

⇨録音LEDが点灯して液晶パネルに" 録音 "を表示し、録音を開始します。

● 録音を開始すると、録音残時間が減っていきます。

録音残時間

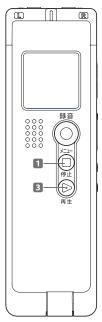
3 **録音を止めるには[停止/メニュー]ボタンを押す**

4 **[再生]ボタンを押す**

⇨今録音した内容が再生されます。

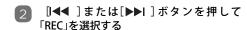
● 音量や音質を確認してください。

5 **再生を止めるには[停止/メニュー]ボタンを押す**

録音モード（音質）を変える

録音モードを変更することで、録音音質と録音可能時間が変わります。音質を優先するか、録音時間を優先するか、用途に応じて録音モードを選択してください。

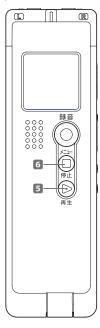
1 電源「入」の状態で、停止中に[停止/メニュー]ボタンを2秒以上長押しする

⇨メニュー選択画面が表示されます。

2 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して「REC」を選択する

3 [再生]ボタンを押す

⇨録音モード選択画面が表示されます（現在選択している録音モードが点滅しています）。

録音

録音モード（音質）を変える（つづき）

4 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して希望の録音モード(PCM,SHQ ,HQ, SP, LP)を選択する

P(PCM): PCMモード

SHQ: 最高音質モード

HQ: 高音質モード

SP: 標準音質モード

LP: 長時間モード(モノラル)

● PCM選択時は"P"のみ表示されます。

(PCM選択時)

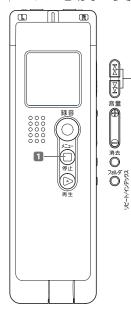
5 [再生]ボタンを押す

⇨録音モードが確定し、メニュー選択画面に戻ります。

6 [停止/メニュー]ボタンを押す

⇨もとの停止状態に戻ります。

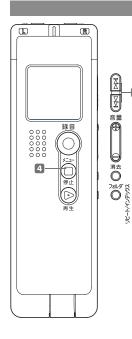
- 録音モードにより電池持続時間が変わります。（☞16ページ）
- PCMモードで録音中に音とびが発生した場合は、必要なファイルをパソコンに保存し、本機の内蔵メモリのフォーマット（☞64ページ）をおすすめします。

マイク感度を変える

マイク感度はHI（高）、LO（低）から選択できます。目的（録音する音の大きさ）に合わせて切り換えることで、より最適な録音ができます。

1 **電源「入」の状態で、停止中に[停止/メニュー]ボタンを2秒以上長押しする**

⇨“dIVIdE”が表示されます。

2 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して「SE n SE」を選び、[再生]ボタンを押す**

⇨“SE n SE”が表示されます。

3 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押してマイク感度「HI/Lo」を選び、[再生]ボタンを押す**

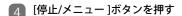
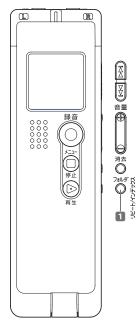
HI：会議など複数人（目安 10 人以下）の会話を録音する場合に選択します。

Lo：インタビューなど少人数（目安 1 ～ 2 人）の会話を近距離で録音する場合に選択します。

- 「HI」を選択して音割れなどが生じた場合は「Lo」に変更してください。なお、大音量の音楽などを録音する場合は、「Lo」を選択しても音が割れたりする場合があります。
- 録音時には必ず録音モニター(☞40ページ)を行い、マイク感度の確認を行ってください。

4 **[停止/メニュー]ボタンを押す**

⇨もとの停止中状態に戻ります。

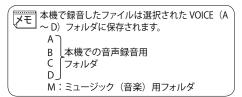
録音

録音するフォルダを選択する

1 **[フォルダ/リピート/インデックス]ボタンを押して、録音するフォルダ(A•B•C•D)を選択する**

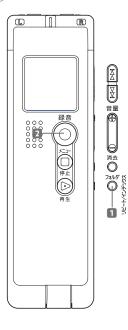
フォルダ名

メモ 本機で録音したファイルは選択された VOICE（A ～ D）フォルダに保存されます。

A
B 本機での音声録音用
C フォルダ
D

M：ミュージック（音楽）用フォルダ

- 各録音モードの最大録音時間とは別に、本機で録音できる最大ファイル数は 1 フォルダにつき 99 ファイルとなります（最大 396 ファイル：99 ファイル× 4 フォルダ）。ただし、録音残時間がない場合は、99 ファイルまで録音できません。
- M フォルダには録音できません。M フォルダを選択して録音した場合、自動的に A フォルダに録音されます。A フォルダのファイル数が 99 のときは録音できません。

会話などを録音する

電池の残量が充分にあることを確認してください。

録音する

1 録音するフォルダを選択する

☞36ページ「録音するフォルダを選択する」参照。

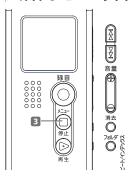
2 [録音]ボタンを押す

⇨録音LEDが点灯し、液晶パネルに"録音"と表示され、録音を開始します。

- 現在録音しているファイル番号と録音残時間を表示します。
- 自動的に録音日時(録音開始時刻)も記録します(タイムスタンプ機能)。
☞47ページ
- 録 音LEDの"On"/"OFF"を 選 択 で き ます。

  工場出荷時の設定では"On"に設定されています。

  ☞82ページ

つづく

3 録音を止めるには[停止/メニュー]ボタンを押す

⇨録音していたファイルの総録音時間が表示されます。

総録音時間

録音を一時停止する

1 録音中に、[録音]ボタンを押す

⇨録音残時間が点滅します。

● 再度[録音]ボタンを押すと、録音を再開します。

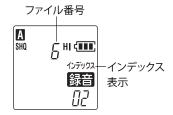
録音残時間

● 録音一時停止中に、約 15 分間放置しておくと、録音していたファイルを保存した後、電源が切れます（オートパワーオフ機能を “On” に設定時)。

録音中にインデックスをつける

再生時の頭出しに便利なように、インデックス(本にはさむ"しおり"のようなもの)をつけることができます。

1 録音中、または録音一時停止中に[フォルダ/リピート/インデックス]ボタンを押す

⇨"インデックス"が表示され、その箇所にインデックスがつきます。押すたびに"01" "02"…と表示されます。

メモ
- インデックスは最大 1 ファイルに 32 ヶ所つけることができます。それ以上つけようとしても "FULL" が表示され、記録されません。
- 同じ位置にインデックスをつけようとすると、"ERROR" と表示し、インデックスをつけることができません。
- インデックスをつけたファイルをファイル分割するとインデックスは消えます。
- インデックスを削除することはできません。ファイル消去時にインデックスも共に削除されます。

つづく

会話などを録音する（つづき）

録音内容をモニターする

1 ステレオヘッドホン（ 🎧 ）端子にステレオヘッドホンを差し込む

- ステレオヘッドホンを接続した状態で録音を開始すると、録音している内容をステレオヘッドホンから聞くことができます。[音量（＋または－）]ボタンを押すと、モニター中にステレオヘッドホンから聞こえてくる音量を調節できます。
  スピーカーからモニター音は出力されません。

ステレオ外部マイクを使用する

準備

AまたはB、C、Dフォルダを選択しておきます。
☞36ページ

1 マイクを本機のステレオマイク端子に挿入する

2 マイク感度を選択する

☞34ページ

3 録音モードを選択する

☞31ページ

4 [録音]ボタンを押す

☞37ページ

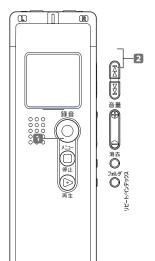
メモ

- ステレオ外部マイクを使用される場合は下記仕様をおすすめします。（保証値ではありません）
  - 形式： エレクトレットコンデンサー / ※プラグインパワー方式
  - インピーダンス： 2k Ω
  - 感度： -32dB ± 3dB
  - 電源： 1.3V にて動作保証品
  - プラグ： ミニプラグ（3.5 ∅）

  ※ プラグインパワー方式は、ボイスレコーダー本体から電源を供給する方式です。
- 推奨仕様以外のステレオ外部マイクを使用された場合、録音感度が低いなど、うまく録音ができないことがあります。

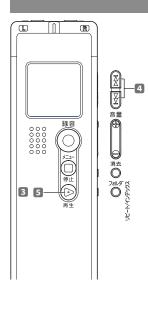
音声を感知して自動録音する（VAS）

- VAS とは、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定のレベル以下になると録音が自動的に一時停止（録音待機）するという機能です。
- VAS を “On” に設定すると、録音状態で音を感知したときだけ自動的に録音を開始し、音が小さくなると録音が一時停止します。
- VAS“On” 設定で録音中に一時停止（録音待機状態）になっても、オートパワーオフ機能は働きません。

準備

AまたはB、C、Dフォルダを選択しておきます。
☞36ページ

1 電源「入」の状態で、停止中に[停止/メニュー]ボタンを2秒以上長押しする

- メニュー選択画面を表示します。

2 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して「VAS」を選択する

3 **[再生]ボタンを押す**

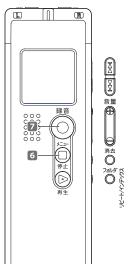
●VAS設定画面を表示します（現在の設定が点滅しています）。

●工場出荷時の設定は“OFF”です。

4 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して“On”を選択する**

5 **[再生]ボタンを押す**

⇨VAS設定が“On”になり、メニュー選択画面に戻ります。

VAS

6 **[停止/メニュー]ボタンを押す**

⇨もとの停止状態に戻ります(VAS表示が点灯しています)。

7 **[録音]ボタンを押す**

⇨音声を感知しないと録音待機状態になり、音声を感知すると自動的に録音を開始します。
(録音待機状態: VAS表示と録音残時間が点滅)

- VAS設定を"On"に設定している場合は、録音または録音待機中に ⏮ または ⏭ ボタンを押して、マイクセンサーの感知レベルを設定することができます。
- VASの感知レベルは「VAS 1 ~ VAS 5」の範囲で、数値を画面表示します(初期値=3)。

[停止/メニュー]ボタンを押さない限り、停止状態になりません。また、電源を切ることもできません

メモ

- 録音待機状態のとき、録音残時間表示とVAS表示が点滅します。
- 小さな音は録音しない場合がありますので、大切な録音をするときはこの機能を"OFF"にしてください。
- VAS設定を"On"に設定した時もタイマー予約録音ができます。☞66ページ
- VAS録音時に録音ボタンを押すと、録音一時停止状態になります。
- VAS設定が"On"に設定されている状態で録音を開始すると、約3秒間は無条件に録音されます。
- 音声レベルが約2秒間設定レベル以下になると、録音を一時停止（録音待機）します。
- 数値が高い方が小さな音でも起動しやすくなりますが、雑音の多いところでは、逆に録音が止まらない場合があります。
- マイク感度を「HI」または「Lo」に切り換えて、ご使用の目的に合わせてVASレベルを調整してください。☞44ページ
- VAS録音時に録音ボタンを押すと、通常の録音一時停止状態になります。（オートパワーオフ機能を"On"設定時には、約15分後に自動的に電源が切れます。）

録音した音声（A ～ D フォルダのファイル）を再生する

● VOICE（A ～ D）フォルダに録音したファイルを再生します

再生する

1 **[フォルダ/リピート/インデックス]ボタンを押して、再生するファイルが入っているフォルダ（A•B•C•D）を選択する**

⇨A•B•C•Dに切り換わります。

2 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して、再生したいファイルを選択する**

3 **[再生]ボタンを押す**

⇨再生を開始します。

- 再生中はファイル番号と再生経過時間を表示します。
- 同一フォルダ内の最後のファイルの再生が終了すると、自動的に停止します。
- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。ファイル数が多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。

●PCM録音したファイルは、ファイル番号の前に「P」が表示されます。

再生を停止する

1 [停止/メニュー]ボタンを押す

⇨再生していたファイル番号とファイルの再生総時間を表示します。

●[再生]ボタンを押すと、続きから再生を再開します。

メモ

● 停止中に「停止 / メニュー」ボタンを押すごとに、画面表示が「再生時間」⇒「現在時刻」⇒「現在日付」⇒「録音残時間」⇒「録音時刻」⇒「録音日付」の順に切り換わります。

再生

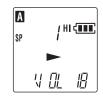
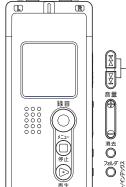
音量を調節する

1 **[音量]ボタンを押して調整する**

⇨ (＋)を押すと音量が大きくなります。

⇨ (－)を押すと音量が小さくなります。

● 音量レベル00 ～ 20の範囲で調整できます。

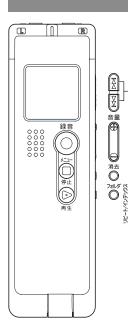
早送り・早戻しする

1 **再生中に[▶▶I](早送り)[I◀◀](早戻し)を2秒以上長押しする**

● 離すと解除されます。

ファイル送り・ファイル戻しする

1 **再生中または停止中に[▶▶I](ファイル送り)[I◀◀](ファイル戻し)を短く押す**

● ファイル送りの場合は、[▶▶I]を押すごとに次のファイルの先頭に移動します。

● ファイル戻しの場合は、[I◀◀]を押すごとに1つ前のファイルの先頭に移動します。

インデックス送り・インデックス戻しする

1 **インデックスをつけたファイルの再生中に[▶▶I](インデックス送り)[I◀◀](インデックス戻し)を短く押す**

- インデックス送りの場合は、[▶▶I]を押すごとに次のインデックスに移動します。
- インデックス戻しの場合は、[I◀◀]を押すごとに1つ前のインデックスに移動します。

- 再生中のファイルにインデックスが付いていないときに、[I◀◀][▶▶I] を押すと、ファイル送り・ファイル戻し動作になります。

つづく

再生スピードを切り換える

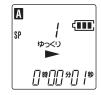
再生中に、再生スピードを切り換えることができます。

1 再生中に、[再生]ボタンを押す

⇨再生スピードが切り換わります

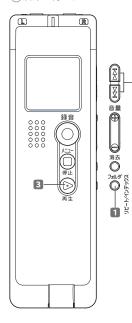
● [再生]ボタンを押すたびに次の順で設定が切り換わります。

「遅い（"**ゆっくり**"表示）」... ゆっくりしたスピードで再生
↓
「速い（"**早い**"表示）」...... 速いスピードで再生
↓
「標準スピード（再生経過時間表示）」

メモ

● 再生を停止すると、再生スピードは標準スピードに戻ります。
● 早送り・早戻しをしても、再生スピードは標準スピードに戻りません。
● ファイルによっては正常に再生できない場合があります。

パソコンから取り込んだ音楽など（M フォルダのファイル）を再生する

- Mフォルダに取り込んだファイルを再生します。

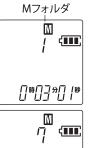
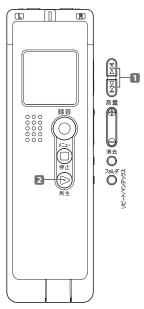
音楽を再生するにはパソコンから音楽ファイルを転送しておく必要があります。☞パソコン編

再生する

1 **[フォルダ/リピート/インデックス]ボタンを押して、Mフォルダを選択する**

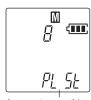
⇨Mに切り換わります。

2 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して、再生したいファイルを選択する**

3 **[再生]ボタンを押す**

⇨ファイルを再生します。

プレイリストを再生する

プレイリストの作成については☞パソコン編

1 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して「PLSt」（プレイリスト）フォルダを選択する

プレイリストフォルダ表示

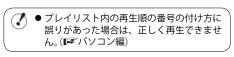
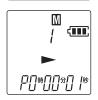
2 [再生]ボタンを押す

⇨プレイリストの曲順で再生します。

- プレイリスト再生を止めるには、[停止ボタン]を押します。

  [フォルダ]ボタンを押すと、Mフォルダ内のファイル選択画面に戻ります。

- プレイリスト内の再生順の番号の付け方に誤りがあった場合は、正しく再生できません。(☞パソコン編)

メモ

- 停止中に[停止/メニュー]ボタンを押すごとに、画面表示が「再生総時間」→「現在時刻」→「現在日付」→「再生経過時間」と切り換わります。
- Mフォルダ内のファイルにはインデックスをつけることはできません。
- 容量の大きいファイルはボタンを押してから動作するまで少し時間がかかることがあります。
- 音楽ファイルをヘッドホン再生するときは、お好みの音質を選んだり、低音を強調したりすることができます。(☞82ページ)

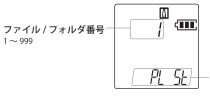
- 著作権保護されている音楽ファイルは本機で再生することができません。同様に、インターネットで購入された音楽ファイルも本機では再生できません。
- MP3・WMA 形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- お客さまが転送した MP3・WMA 形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用することができません。
- 本機およびパソコンの不具合により転送できなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

つづく

パソコンから取り込んだ音楽など（M フォルダのファイル）を再生する（つづき）

• 楽曲情報（アーティスト名、アルバム名、楽曲名）は、本機では表示できません。

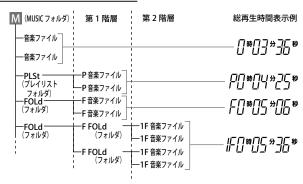
MUSICフォルダの表示について

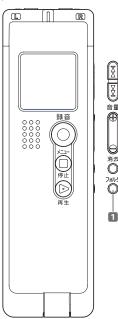
■ フォルダ/プレイリストを選択した場合

フォルダ情報表示

PLSt：プレイリストフォルダ
FOLd：MUSIC フォルダ直下のフォルダ
F FOLd：第一階層のフォルダ

■ ファイルを選択した場合

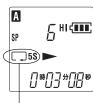
表示なし：MUSIC フォルダ直下の音楽ファイル
P：プレイリストフォルダの音楽ファイル
F：フォルダ（第一階層）の音楽ファイル
1F：フォルダ（第二階層）の音楽ファイル

MUSICフォルダの階層について

- 第1階層→第2階層と進むときは[再生]ボタンを押す
- 第2階層→第1階層と戻るときは[フォルダ/リピート/インデックス]を押す
- 本機では第2階層まで再生できます。(プレイリスト内は1階層まで)

5秒前リピート再生する

●再生中のファイルの現在時点から5秒間戻って、現時点までの5秒間を繰返し再生する機能です。短いフレーズや聞き取れなかったところなどを繰り返して再生することができます。

1 再生中に、[フォルダ/リピート/インデックス]ボタンを押す

⇨「 5S 」を表示し、押した時点から5秒前に戻って繰り返し再生します。

●5秒前リピート中に、[フォルダ/リピート/インデックス]ボタンを押すと、5秒前リピートを解除して通常再生に戻ります。

5秒前リピート表示

リピート再生する

- 再生中のファイルまたは、選択中のフォルダ内の全ファイルを繰り返し再生することができます。
- [フォルダ / リピート / インデックス] ボタンを押すたびに次の順で設定が切り換わります。

1 リピート再生するには、再生中に、[フォルダ/リピート/インデックス]ボタンを2秒以上長押しする

A•B•C•Dフォルダ時

長押し

「ファイルリピート(1 表示)」.... 再生中のファイルを繰り返し再生

↓ 2秒以上押す

「フォルダリピート(表示)」....フォルダ内の全ファイルを繰り返し再生

↓ 2秒以上押す

「リピートオフ」

Mフォルダ時

長押し

「ファイルリピート(1 表示)」.... 再生中のファイルを繰り返し再生

↓ 2秒以上押す

「フォルダリピート(表示)」....フォルダ内の全ファイルを繰り返し再生

↓ 2秒以上押す

「ランダムリピート(R 表示)」....フォルダ内のファイルをランダムに繰り返し再生

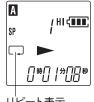
↓ 2秒以上押す

「リピートオフ」

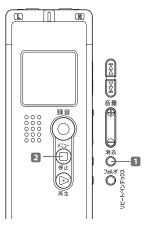
リピート表示

再生

リピート再生する（つづき）

メモ

- リピート再生中に再生を停止すると、リピートオフになります。
- ファイルまたは、フォルダリピート再生中に[フォルダ/リピート/インデックス]ボタンを押すと、5秒前リピート機能が働きます。

1 件消去する（ファイル消去）

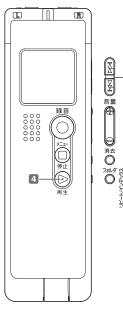
- 一度消去したファイルなどは元に戻すことができません。
- 消去前に必ず内蔵メモリ内の録音内容を確認してください。
  - ファイルの消去前に、必要なファイルはパソコンや外部機器などに保存してください。☞ 85 ページ、パソコン編
  - 操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。
  - 「ファイルを 1 件消去する」・「フォルダを 1 件消去する」で消去できるのは、本機で再生可能な MP3・WMA・本機で録音した WAV 形式のファイルのみです。
- 以下のファイルは消去できません。
  - MP3・WMA・WAV 形式以外のファイル
  - 再生可能なフォルダに入っていないファイル

1 電源「入」状態で、停止中に[消去]ボタンを押す

⇨ERASEが表示され、"FIL"が点滅します。

- 消去できるファイルがない場合、[消去]ボタンを押しても、機能しません。
  "no dATA"と表示した後、停止画面に戻ります。

2 [再生]ボタンを押す

⇨ファイル番号が点滅します。

1件消去する（ファイル消去）（つづき）

3 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して消去するファイルを選択する**

4 **[再生]ボタンを押す**

⇨"y-n"が表示されます。

5 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して、消去"y"またはキャンセル"n"を選択する**

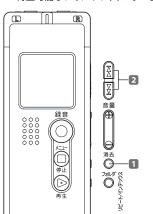
- "y"点滅中に[再生]ボタンを押すとファイルを消去し、停止状態に戻ります。
- "n"点滅中に[再生]ボタンを押すと、手順3の画面に戻ります。

消去中表示

メモ

- 1件消去の場合、消去したファイル以降のファイル番号は繰り上がります。
  例: ファイル「1、2、3」のファイル番号「2」を消去した場合
  ⇒ファイル番号が「3」が「2」に繰り上がり、ファイル「1、2」となる。

全件消去する（フォルダ消去）

- フォルダ内の全ファイルを消去する操作です。
- 一度消去したファイルなどは元に戻すことができません。
- 消去前に必ず内蔵メモリ内の録音内容を確認してください。
  - ファイルの消去前に、必要なファイルはパソコンや外部機器などに保存してください。☞ 85 ページ、パソコン編
  - 操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。
  - 「フォルダを消去」で消去できるのは、本機で再生可能な MP3・WMA・本機で録音した WAV 形式のファイルのみです。
- 以下のファイルは消去できません。
  - MP3・WMA・WAV 形式以外のファイル
  - 再生可能なフォルダに入っていないファイル

1 電源「入」の状態で、停止中に[消去]ボタンを押す

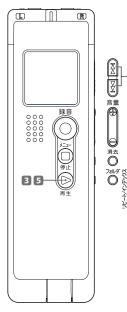
⇨ERASEが表示され、"FIL"が点滅します。

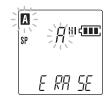
- 消去できるファイルがない場合、[消去]ボタンを押しても、機能しません。
  "no dATA"と表示した後、元の画面に戻ります。

2 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンで"FOL"を選択する

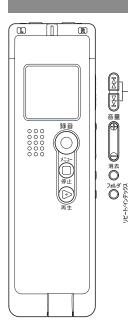
⇨"フォルダ名表示（A B C D M）"と"FOL"が点滅します。

消去

全件消去する（フォルダ消去）（つづき）

3 [再生]ボタンを押す

⇨フォルダが点滅します。

4 [⏮]または[⏭]ボタンを押して消去するフォルダを選択する

5 [再生]ボタンを押す

⇨"y-n"が表示されます。

6 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して、消去"y"またはキャンセル"n"を選択する**

- "y"点滅中に[再生]ボタンを押すとフォルダを消去し、停止状態に戻ります。
- "n"点滅中に[再生]ボタンを押すと、手順4に戻ります。

消去中表示

メモ

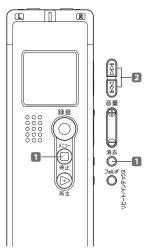
- Mフォルダのサブフォルダは、消去できません。パソコンに接続し、パソコンで消去してください。(☞パソコン編)

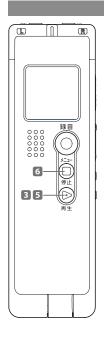
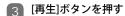
消去

すべてのファイルを消去する（フォーマット）

- 一度消去したファイルなどは元に戻すことができません。
- 消去前に必ず内蔵メモリ内の録音内容を確認してください。

  全ファイルの消去前に、必要なファイルはパソコンや外部機器などに保存してください。☞ 85 ページ、パソコン編

  全ファイルを消去する前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

1 電源「入」の状態で停止中に[停止/メニュー]ボタンを2秒以上長押しする

2 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して、"FORMAT"を選択する

3 [再生]ボタンを押す

⇨フォーマット画面を表示します。

4 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して"y"を選択する

- "n"を選択した場合は、手順2に戻ります。
- フォーマットの手順の途中でフォーマットを中止したい場合は、[停止/メニュー]ボタンを押します。

5 [再生]ボタンを押す

⇨"‥"→"OK"を表示してメモリ内のすべてのファイルを消去した後、"FORMAT"画面へ戻ります。

6 [停止/メニュー]ボタンを押す

⇨停止状態に戻ります。

タイマー予約録音をする

- 指定時刻に録音を開始することができます。録音したファイルは指定したフォルダに作成されます。

タイマーを設定する前には必ず日時を設定してください。☞ 23 ページ「カレンダー（日時）を設定する」を参照ください。

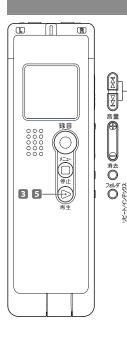
操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。 ☞ 15 ページ

準備

録音モードを選択しておきます。☞31ページ

1　電源「入」の状態で、停止中に[停止/メニュー]ボタンを2秒以上長押しする

⇨メニュー選択画面を表示します。

2　[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して"TIMER"を選択する

3 **[再生]ボタンを押す**

⇨タイマー選択画面を表示します。

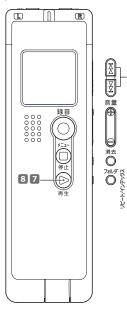
4 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して"On"を選択する**

⇨"On"と"🕒"が点滅します。

5 **[再生]ボタンを押す**

⇨予約録音開始時刻設定画面が表示されます。

つづく

タイマー予約録音をする（つづき）

6 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して"時"を設定する

7 [再生]ボタンを押す

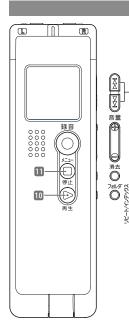
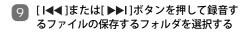
⇨"時"が決定し、次の"分"表示が点滅します。

● 同 様 の 操 作 で"分"、"録 音 時 間※（30M、60M、120M、ALLから 選 択）"を 設 定 しま す。

※ 30M 30分
60M 1時間
120M 2時間
ALL .... 録音残時間がなくなるまで

8 再生ボタンを押す

⇨予約録音-フォルダ指定画面が表示されます（現在の設定が点滅しています。）

9 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して録音するファイルの保存するフォルダを選択する**

⇨Mフォルダは選択できません。

10 **[再生]ボタンを押す**

⇨タイマー予約録音を設定し"TIMER"選択画面に戻ります。

メモ

- 前回設定されていたタイマー設定は解除されます。
- タイマー録音とアラームを同時に設定することはできません。

タイマー予約表示

11 **[停止/メニュー]ボタン**

⇨停止状態に戻ります。

● タイマー予約録音を設定すると" 🕒 "を表示します。録音実行後は" 🕒 "表示が消えます。

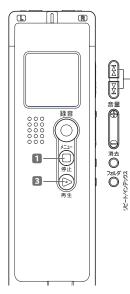
タイマー予約録音をする（つづき）

- タイマー予約録音を行う時は、電池の残量が充分にあることを確認してください。
- 録音残時間がないときや、指定したフォルダ内のファイルが 99 あるときは録音できません。

メモ

- 設定時刻になると自動的に録音が始まり、指定したフォルダ内に新しいファイルが作成されます。（予約録音中は “ ◷ ” が点灯します。）
- 設定時刻に電源が切れている場合、自動的に電源が入って録音を始めます。
- タイマー予約録音を行うには、カレンダー (日時）を設定しておく必要があります。☞ 23 ページ
- 設定操作中に設定をキャンセルするには [停止 / メニュー] ボタンを押します。
- タイマー録音中でも、[録音] ボタンを押すと録音一時停止になります。また [停止 / メニュー] ボタンを押すと、タイマー録音は停止します。（電源を切った状態からタイマー録音が始まった場合、自動的にホールド設定となっていますので、本機を操作するときは [電源 / ホールド] スイッチを戻してホールドを解除してから操作してください。）
- タイマー録音設定中でも通常の録音が可能です。
- 設定時刻は、現在の時刻から 24 時間以内のみ設定できます。
- タイマー予約録音は一度実行すると、設定は解除されます。

指定時刻にアラーム音を鳴らす

- タイマーを設定する前には必ず日時を設定してください。☞ 23 ページ
- 操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。 ☞ 15 ページ
- 指定時間にアラーム音（ビープ音）を約 10 秒間鳴らすことができます。

アラームを設定する

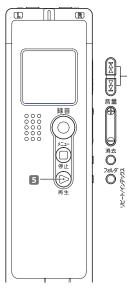
1 電源「入」の状態で、停止中に[停止/メニュー]ボタンを2秒以上長押しする

⇨メニュー選択画面を表示します。

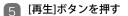
2 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して"TIMER"を選択する

3 [再生]ボタンを押す

⇨タイマー選択画面を表示します。

指定時刻にアラーム音を鳴らす（つづき）

4 **[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押して"ALARM"を選択する**

⇨"On"と"🔔"が点滅します。

5
[再生]ボタンを押す

⇨アラーム時刻設定画面を表示します。

現在時刻

6 **[|◀◀]または[▶▶|]ボタンを押して"時"を設定する**

⇨"時"が点滅します。

7 [再生]ボタンを押す

⇨"時"が決定し、"分"表示が点滅します。

- 同様の操作で"分"を設定した後、[再生]ボタンを押してください。
- アラーム時刻が設定され、"TIMER"選択画面に戻ります。

メモ

- 前回設定されていたタイマー設定は解除されます。
- タイマー録音と、アラームを同時に設定することはできません。

8 [停止/メニュー]ボタンを押す

⇨停止状態に戻ります。

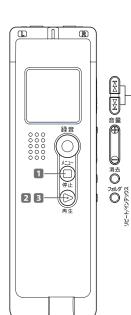
- アラームを設定すると"🔔"を表示します。
- アラーム実行後は、表示が消えます。
- 設定時間になると、アラーム音が鳴ります。

- アラームを使用するとき、電池の残量が充分にあることを確認してください。

指定時刻にアラーム音を鳴らす（つづき）

メモ

- アラームの動作中は " 🔔 " が点滅します。
- アラーム音を止めるにはいずれかのボタンを押します。
- 設定時刻に電源が切れている場合、自動的に電源が入ってアラームが鳴ります。
- アラーム音を鳴らすには、カレンダー (日時）を設定しておく必要があります。
  ☞ 23 ページ
- 録音中は、アラームは動作しません。
- 設定時刻は、現在の時刻から 24 時間以内のみ設定できます。
- アラームは一度実行すると、設定は解除されます。
- アラーム設定操作途中でキャンセルするには、[停止] ボタンを押します。

タイマー予約 / アラームを解除する

1 電源「入」の状態で、停止中に[停止/メニュー]ボタンを2秒以上長押しする

⇨メニュー選択画面を表示します。

2 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して"TIMER"を選択するし、[再生]ボタンを押す

3 [I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して"TIMER OFF"を選択し、[再生]ボタンを押す

⇨アラームが解除され、"TIMER"選択画面に戻ります。

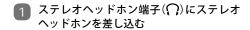
- タイマー予約を解除すると画面から"🕒"が消えます。
- アラームを解除すると画面から"🔔"が消えます。

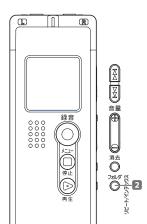
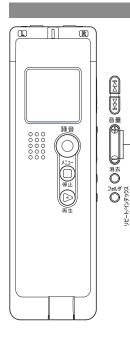
集音機として使用する

本機を集音機として使う場合の機能です。マイクで集音された周囲の音声をヘッドホンで聞き取ることができます。
（工場出荷時は「OFF」に設定されています。）

準備

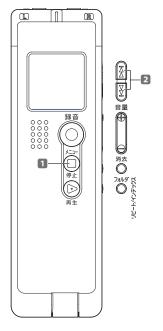
VOICE（A ～ D）フォルダを選択しておきます。
☞36ページ

1 ステレオヘッドホン端子（）にステレオヘッドホンを差し込む

2 停止状態で[フォルダ]ボタンを2秒以上長押しする

⇨「On　dEMO」画面が表示されます。

3 ［音量＋/－］ボタンを押し、モニター中にヘッドホンから聞こえてくる音量を調整する

- ［音量＋/－］ボタン以外のボタンを押すと、集音機の機能は解除されます。
- 「停止中」にのみ、集音機として使用できます。

設定

設定操作（メニュー）のあらまし

1 **電源「入」の状態で、停止中に[停止/メニュー]ボタンを2秒以上長押しする**

⇨各項目メニュー選択画面が表示されます。

2 **[I◀◀]または[▶▶I]ボタンを押して設定したいメニューを選択する**

- A・B・C・Dフォルダ選択中は、以下の順に切り換わります。
  「dIVIdE」⇔「REC」⇔「SEnSE」⇔「bEEP」⇔「VAS」⇔「LEd」⇔「dATE」⇔「TIMER」⇔「bATT」⇔「FORMAT」⇔「AUTo OF」⇔「SOFT no」⇔「dIVIdE」...
- Mフォルダ選択中は、以下の順に切り換わります。
  「bEEP」⇔「EQ」⇔「bASS」⇔「dATE」⇔「TIMER」⇔「bATT」⇔「FORMAT」⇔「AUTo OF」⇔「SOFT no」⇔「bEEP」...
- メニュー選択中に、[停止/メニュー]ボタンを押すと停止状態へ戻ります。

VOICE（A・B・C・D）フォルダ選択中のみ設定

[ファイル分割（dIVI dE）]
　:不要部分のカットや必要部分の抜き出し
[録音モード（REC）]:録音音質の設定
[マイク感度（SEnSE）]: マイクの感度設定
[VAS設定（VAS）]:音声起動録音のON/OFF
[録音LED（LEd）]:録音LEDのON/OFF

MUSIC（M）フォルダ選択中のみ設定

[BASS設定（bASS）]:低音強調設定（ヘッドホン再生時）
[サウンドEQ（EQ）]:音質の設定（ヘッドホン再生時）

選択中のフォルダに関係なく設定

[BEEP音設定（bEEP）]
　:音声ガイドとビープ（ピッ）音のON/OFF
[カレンダー設定（dATE）]: カレンダー (時刻) 設定
[タイマー設定（TIMER）]: アラーム、予約録音設定
［電池設定（bATT）］
　:使用する電池（アルカリ電池/エネループ）の設定
[フォーマット（FORMAT）]:全ファイル消去
[オートパワーオフ（AUTo OF）]
　: オートパワーオフ機能のON/OFF
[バージョン（SOFT no）]
　: ソフトウェアのバージョン表示

工場出荷時の設定値

■ **dIVIdE**: ファイル分割……………………………「n」
■ **REC**:録音モード設定 ……………………… 「SP」
■ **SEnSE**: マイク感度設定 …………………… 「HI」
■ **VAS**:VAS設定 ……………………………… 「OFF」
■ **LEd**:録音LED ………………………………「On」
■ **bASS**:BASS設定 …………………………… 「OFF」
■ **EQ**: サウンドEQ …………………………… 「OFF」
■ **bEEP**: ビープ音設定 ………………… 「On VOICE」
■ **dATE**: カレンダー設定
　　2008年04月01日0時00分
■ **TIMER**: タイマー設定……………… 「OFF TIMER」
■ **bATT**:電池設定 …………………………… 「ALK」
■ **FORMAT**: フォーマット…………………………「n」
■ **AUTO OFF**: オートパワーオフ ……………… 「On」
■ **SOFT no**: バージョン …………………… 「V100」

設定

VOICE（A・B・C・D）選択中のみ設定できるメニュー項目

■ dIVIdE：ファイル分割

ファイルを分割して不要な部分のカットや必要な部分の取り出しができます。

あらかじめ分割したい位置（時間）までファイルを再生し、停止させておきます。

- 「n」：停止状態に戻ります。
- 「y」：停止位置でファイル分割を実行します。

- 録音時間の短いファイルやMフォルダ内のファイルは、ファイル分割できません（Mフォルダを選択中はこのメニューは表示されません）。
- ファイル分割したファイルは、本機では再結合できません。
- ファイル分割するにはメモリに空き容量が必要です。
- フォルダ内のファイル数が99になるとファイル分割できません。
- インデックスをつけたファイルを分割すると、インデックスは消えます。

- 分割した部分が前後のファイルで重複します。重複する時間と分割に必要なファイルの録音時間は下表の通りです。

録音モード	PS185RM		PS182RM	
	重複する時間	ファイル録音時間	重複する時間	ファイル録音時間
PCM	約1秒	約1秒以上	約1秒	約1秒以上
SHQ	約2秒	約4秒以上	約1秒	約2秒以上
HQ	約4秒	約8秒以上	約2秒	約4秒以上
SP	約8秒	約16秒以上	約4秒	約8秒以上
LP	約16秒	約32秒以上	約8秒	約16秒以上

- ファイル分割するにはメモリに空き容量が必要です。

ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。

■ REC：録音モード設定

- 「P（PCM）」:PCMモード
- 「SHQ」: スーパーハイクオリティモード
- 「HQ」: ハイクオリティモード
- 「SP」: スタンダードモード
- 「LP」: ロングモード

☞31ページ

■ SEnSE：マイク感度設定

- 「HI（高感度）」:会話など複数人（目安:10人以下）の会話を録音する場合
- 「LO（低感度）」: インタビューなど近距離の会話を録音する場合に選択します。
- 大音量の音楽などを録音する場合は､「Lo（低感度）」にしても音が割れたりすることがあります。

■ VAS：VAS 設定

VAS（音声起動録音）のOn/OFFを設定します。

- 「OFF」:手動で録音の開始､停止をします。
- 「On」:録音状態で音声を感知したときに自動的に録音がはじまり、音声がとだえると録音が自動的に録音待機となります。

☞42ページ

設定

設定する（つづき）

■ LEd：録音 LED

録音LEDのOn/OFFを設定します。

- 「**On**」: 録音時に録音LEDが点灯します。
- 「**OFF**」: 録音時に録音LEDは点灯しません。

MUSIC（M）フォルダ選択中のみ設定できるメニュー項目

■ bASS：BASS 設定

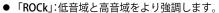
低音域の強調モードのOn/OFFを設定します。

- 「**OFF**」:BASS機能を使いません。
- 「**On**」:低音域を強調した音質で再生します。

ヘッドホン再生時のみ有効です。

■ EQ：サウンド EQ

音楽に合わせた音質を選択することができます。

- 「**OFF**」: サウンドEQを使いません。
- 「**CLAS**」:低音域と高音域を強調します。
- 「**JAZZ**」:中音域を強調します。
- 「**ROCk**」:低音域と高音域をより強調します。
- 「**POP**」:低音域と高音域をやや強調します。

ヘッドホン再生時のみ有効です。

■ bEEP：ビープ音設定

音声ガイドやビープ音（ピッ）のOn/OFFを設定します。

- 「On VOICE」: 操作時、音声ガイドとビープ音(ピッ)を鳴らします。
- 「On bEEP」: 操作音とビープ音(ピッ)を鳴らします。
- 「OFF bEEP」: 音声ガイドとビープ音(ピッ)は鳴りません。

■ dATE：カレンダー設定

カレンダー(年月日・時分)を設定します。

YY年**MM**月**DD**日、(12/24時間表示)、HH時MM分

☞23ページ

■ TIMER：タイマー設定

アラーム設定、予約録音の設定をおこないます。

- 「OFF TIMER」: アラーム予約録音を解除します。
- 「On ALARM」 →**HH**時**MM**分: 設定した時間にアラーム音(約10秒)を鳴らします。
- 「On TIMER」→**HH**時**MM**分→**録音する時間**→**録音フォルダ**：設定した時刻に録音を開始し、設定した録音時間、選択したフォルダにファイルを保存します。

☞66ページ

☞71ページ

- 予約録音を設定する前にあらかじめ録音モードで、録音音質を設定してください。☞31ページ参照

アラームと予約録音とを同時に設定することはできません。

設定

設定する（つづき）

■ bATT：電池設定

- 「**ALK**」：アルカリ乾電池使用時に選びます。
- 「**EnE**」：エネループ使用時に選びます。

■ FORMAT：フォーマット

内蔵メモリをフォーマット（全ファイル消去）することができます。

- 「**n**」：フォーマットを取りやめます。
- 「**y**」：内蔵メモリ中の全ファイルを消去します。

☞64ページ

■ AUTO OFF：オートパワーオフ

オートパワーオフ機能のOn/OFFを設定します。

- 「**On**」：オートパワーオフ機能が働きます。
- 「**OFF**」：オートパワーオフ機能は働きません。

■ SOFT no：バージョン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

外部機器と接続する

外部機器へ録音（バックアップ）する

1 本機の音量を調節する

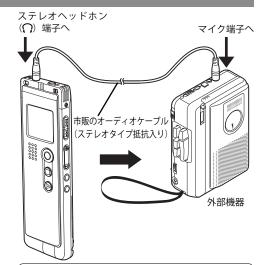
☞48ページ

2 ミニプラグ（3.5ϕ）つきで、ステレオタイプのオーディオケーブル（市販品）を、本機のステレオヘッドホン（🎧）端子と外部機器のマイク端子に接続する

外部機器側	オーディオケーブル
マイク入力	ミニプラグ：3.5ϕ、抵抗入り
音声ライン入力	ミニプラグ：3.5ϕ、抵抗なし

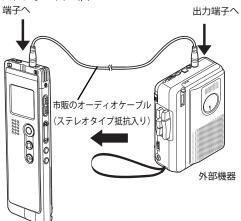
3 外部機器の[録音]を開始する

4 録音したいファイル（録音内容）を選択し、本機の[再生]を開始する

☞46ページ

- テープレコーダーなどの音声（ライン）入力端子を使用して接続する場合は「抵抗なし」オーディオケーブル（ステレオタイプ）をおすすめします。
- バックアップ前には必ず試し録音をして、本機側で音量の調節をしてください。

外部機器と接続する(つづき)

外部機器の音声を録音する

1 ミニプラグ(3.5ϕ)つきで、ステレオタイプのオーディオケーブル(市販品)を、本機のステレオマイク端子( )と外部機器の出力端子に接続する

2 本機の録音モードを選択する

☞31ページ

3 外部機器を再生し、本機の[録音]ボタンを押して録音する

☞37ページ

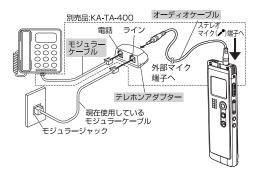
- 必ず事前に試し録音をしてください。
- 事前に外部機器での音量の調整を行ってください。

電話の音声を録音する

1 **電話録音キットを下記のように接続する**

（別売品：電話録音キットKA-TA-400使用時）

2 **本機の録音モードを選択する**

☞31ページ

3 **本機の[録音]ボタンを押して録音する**

☞37ページ

- 必ず事前に試し録音をしてください。
- 電話の音声を録音する時はモノラル音声での録音となります。
- ビジネスホンやホームテレホンなど対応していない電話機があります。
- 携帯電話を録音したい場合は市販の録音アダプタをご購入ください。

故障かな?と思う前に

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　　因	電池が正しく入っていないか、電池切れである
解 決 方 法	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または新しい電池に換えてください。 15ページ「電池を入れる」参照

ボタンまたはスイッチを押しても反応しない

原　　因	誤動作防止機能(ホールド機能)が設定されている
解 決 方 法	誤動作防止機能(ホールド機能)を解除してください。 22ページ「ホールドON/OFF」参照

原　　因	USB接続したままである
解 決 方 法	本機をパソコンから取り外してください。 19ページ「本機をパソコンやUSB ACアダプターから取り外す」参照

カレンダーが正しく表示されない

解 決 方 法	日時を再設定してください。 23ページ「カレンダー(日時)を設定する」参照

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解 決 方 法	音量を調節してください。 48ページ「音量を調節する」参照

VOICE(A・B・C・D)フォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解 決 方 法	パソコンでファイル名を変更するとVOICEに戻しても再生できなくなりますが、MUSIC(M)フォルダに転送すると再生できるようになります。(WAV形式のファイルを除く)

原　　因	本機で録音したWAV形式の音声ファイルではない
解 決 方 法	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。

MUSIC（M）フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	・再生できるファイル形式ではない ・著作権保護されているファイルは再生できません。
解決方法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

原　　因	WAV形式の音声ファイルである。
解決方法	WAV形式の音声ファイルはMフォルダで再生できません。 本機で録音したWAV形式の音声ファイルであれば、VOICE（A〜D）フォルダーに戻して再生してください。

原　　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSIC（M）フォルダ内に転送してください。 「パソコン編」参照

原　　因	本機で再生できないファイルとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3・WMA変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

ファイル分割ができない

原　　因	メモリの空き容量が足りない
解決方法	不要なファイルを消去してください。 59ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照

原　　因	ファイルの録音時間が短すぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 80ページ「設定する - ファイル分割」参照

故障かな?と思う前に（つづき）

ファイルが消去できない

原　因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている
解決方法	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。または、内蔵メモリのフォーマット（初期化）をおこなってください。 64ページ「すべてのファイルを消去する（フォーマット）」参照

音声ガイドが使用できない

原　因	BEEP音設定が「On VOICE」になっていない
解決方法	メニューモードでBEEP音設定を「On VOICE」にしてください。 82ページ「設定する - BEEP音設定」参照

録音するとノイズが聞こえる

原　因	録音モードやマイク感度が適切でない
解決方法	録音モードやマイク感度を切り換えてためし録音しながら、最適な録音環境に設定してください。 31ページ「録音モード（音質）を変える」参照 34ページ「マイク感度を変える」参照

解決方法	内蔵メモリのフォーマット（初期化）をおこなってください。 64ページ「すべてのファイルを消去する（フォーマット）」参照

※パソコン接続に関する内容は、「パソコン編」をご覧ください。

よくあるご質問（Q&A）

Q：マンガン電池などは使えますか?

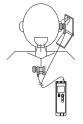
A：マンガン電池、ニカド電池は使用可能時間が著しく短くなったり、録音途中に電池切れになったりする場合があり、おすすめできません。オキシライド電池も使えますが、電池の持続時間はアルカリ電池の場合とほぼ同じになります。

Q：再生音にガサガサ雑音が入るのはなぜ?

A：録音中に本体や本体を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ本体を動かさないようにしてください。

Q：携帯電話の音声を録音するには?

A：3WAYステレオマイク「HM-250」を使って録音できます。家庭用電話または、ビジネスホンなどの会話を録音するときも便利です。

3WAYステレオマイク「HM-250」

Q：取扱説明書に記載されている録音可能時間は、1つのファイルごとの録音可能時間ですか?

A：いいえ、ちがいます。各録音モードの録音可能時間とは、メモリ内に録音ファイルが何もない状態で、録音モードを変えることなく最初から最後まで録音した場合の合計時間です。例えば、1ファイルでメモリが一杯になるまで録音すると、ファイルやフォルダを変更してもそれ以上は録音できません。

Q：うまく録音するコツは?

A：録音場所や周囲の状況により録音状態が異なりますので、事前に試し録音をして適切な録音モードや感度を選択してください。

Q：パソコンにいったん保存した録音ファイルを、本機に再び戻したら再生できなくなりました。

A：パソコンでファイル名を変更していませんか?ファイル名を変更すると、VOICEフォルダに戻しても再生できませんが、MUSICフォルダに転送すると再生できるようになります。（WAVファイルを除く）

その他のよくあるご質問ならびにソフトウエアのバージョンアップ情報については、当社ホームページのサポートページ http://www.sanyo-audio.com/support/icr/ にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

お手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

内蔵メモリ ： 2GB（PS185RM）
1GB（PS182RM）

録音モードと録音可能時間 ：

録音モード	ICR-PS185RM	ICR-PS182RM
PCM	約 3 時間	約 1 時間 30 分
SHQ	約 35 時間 10 分	約 17 時間 20 分
HQ	約 70 時間 30 分	約 35 時間
SP	約 141 時間	約 70 時間
LP	約 282 時間	約 140 時間

・録音可能時間とは、内蔵メモリに何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せず最初から最後まで録音した場合の最大合計時間です。

※内蔵メモリの特性により、録音時間が短くなることがあります。

対応OS ： Windows Vista/XP/2000/Me

録再周波数特性 ： 60〜20,000Hz（PCM時）
60〜14,400Hz（SHQ時）
60〜7,400Hz（HQ時）
60〜3,400Hz（SP時）
60〜2,900Hz（LP時）

録音フォーマット ： MP3・PCM（WAV）

再生フォーマット ： MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3）・WMA・WAV（本機でPCM録音したファイルのみ）

サンプリング周波数 ： 16〜44.1kHz（MP3）
44.1/48kHz（WMA）

再生対応ビットレート※1 ： 16〜320kbps（MP3）
32〜192kbps（WMA）
※1 ファイルによっては正常に再生できない場合があります。

S/N比 ： 82dB

入・出力端子 ： USB/ステレオヘッドホン3.5φミニ/ステレオマイク3.5φミニ

動作温度 ： ＋5℃〜＋35℃

定格出力（ヘッドホン） ： 10mW＋10mW(16Ω負荷時、JEITA/DC)

電源 ： 単4アルカリ乾電池（単4形エネループ）×1本、AC電源（USB）

電池持続時間

連続録音時間

［MP3］（SPモード、ステレオ時）
： 約14時間（アルカリ乾電池）
約11.5時間（エネループ）

［PCM時］ ： 約11時間（アルカリ乾電池）
約9.5時間（エネループ）

(録音環境：録音LED OFF、録音モニター なし)

資料

連続再生時間(ヘッドホン再生時)

［MP3］（SPモード、ステレオ時）
：約12時間（アルカリ乾電池）
約10.5時間（エネループ）
［PCM］：約12時間（アルカリ乾電池）
約10.5時間（エネループ）

連続再生時間(スピーカー再生時)

［MP3］（SPモード、ステレオ時）
：約9時間（アルカリ乾電池）
約8時間（エネループ）
［PCM］：約9時間（アルカリ乾電池）
約8時間（エネループ）

※連続再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。アルカリ電池、もしくは当社製充電池（エネループ）以外での動作保証はいたしません。

最大外形寸法：幅33×高さ112×奥行き13(㎜)（折りたたみ時）

質量：約48g(電池含む)

付属品：
インナーイヤー型ステレオヘッドホン（1）
専用USB接続ケーブル（1）
単4形アルカリ乾電池（1）
本書（保証書付き）（1）
取扱説明書 パソコン編（1）
かんたん操作ガイド（1）

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の88ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お問い合わせの際、電池を入れるところの内側に貼ってあるラベルに書かれた製造番号（シリアルナンバー）をお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ステレオデジタルボイスレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口：家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口：修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）
三洋電機（株） お客様センター

相談受付時間　9:00～18:30 (365日)

☎ 050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は
大阪 (06)6994-9570 におかけください。

※郵便・FAXでご相談される場合
三洋電機(株)　お客さまセンター
FAX　(06) 6994-9510
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5

家電商品の修理サービスについてのご相談　<三洋電機サービス株式会社>

受付時間　月曜日～金曜日　[9:00～18:30]
（7月～8月）　[8:45～19:30]
土曜・日曜・祝日・当社休日　[9:00～17:30]

東コールセンター

関東・甲信越地区	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
北海道地区	050-3116-2333
東北地区	050-3116-2444

西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	050-3116-2555 大阪(06)4250-8400
中部地区	050-3116-2666
中国地区	050-3116-2777
九州地区	050-3116-2888

沖縄地区※	098-944-5018

※受付時間：月曜日～土曜日9:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談　<三洋電機サービス株式会社>

受付時間　月曜日～金曜日9:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）
ご相談は、各地区サービスセンターで承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくはホームページでご確認ください。　http://www.sanyo.co.jp

つづく

お客さまご相談窓口における
お客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

<利用目的>

● お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

● 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

北　海　道　地　区			
札　幌	(011) 831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函　館	(0138) 48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
旭　川	(0166) 22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
北　見	(0157) 23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧　路	(0154) 22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6

東　北　地　区			
仙　台	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
青　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市大字上野字山辺29-5
盛　岡	(019)623-1600	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-6
山　形	(023)641-1769	〒990-2331	山形県山形市飯田西4-5-35
秋　田	(018)862-6551	〒011-0901	秋田県秋田市寺内イサノ93-1
郡　山	(024)945-6793	〒963-0107	福島県郡山市安積3-120

関　東・甲信越　地　区

さいたま	(048) 778-3095	〒362-0025	埼玉県上尾市上尾下780-1
坂　　戸	(049) 284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
宇 都 宮	(028) 614-3883	〒321-0111	栃木県宇都宮市川田町字免ノ内765-5
つ く ば	(0298) 64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　　戸	(029) 251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
伊 勢 崎	(0270) 40-7611	〒372-0003	群馬県伊勢崎市華蔵寺町87-1
新　　潟	(025) 285-2431	〒950-0942	新潟県新潟市中央区小張木2-16-43
長　　岡	(0258) 46-8065	〒940-2127	新潟県長岡市新産2-8-6
城　　東	(03) 5697-8160	〒120-0005	東京都足立区綾瀬7-22-15綾瀬7丁目ビル
城　　北	(03) 5914-3413	〒174-0051	東京都板橋区小豆沢1-23-10
城　　西	(03) 5347-0761	〒167-0032	東京都杉並区天沼3-12-12テック杉並
武 蔵 野	(042) 364-7721	〒183-0033	東京都府中市分梅町5-9-1
横　　浜	(045) 827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
平　　塚	(0463) 55-3926	〒254-0014	神奈川県平塚市四之宮3-20-60
相 模 原	(042) 788-2760	〒194-0012	東京都町田市金森851-3
千　　葉	(043) 208-3800	〒260-0842	千葉県千葉市中央区南町3-7-15
鎌 ケ 谷	(047) 441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
甲　　府	(055) 226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23

中　部　地　区

名 古 屋	(052) 485-3620	〒453-0816	愛知県名古屋市中村区京田町2-1
岡　　崎	(0564) 23-3418	〒444-0860	愛知県岡崎市明大寺本町1-20明大寺本町ビル1階
岐　　阜	(058) 246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静　　岡	(054) 236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
沼　　津	(055) 935-0501	〒410-0822	静岡県沼津市下香貫七面1152-2
浜　　松	(053) 461-8685	〒430-0812	静岡県浜松市南区本郷町123
松　　本	(0263) 40-3411	〒390-0852	長野県松本市島立1064-1
金　　沢	(076) 292-2060	〒921-8005	石川県金沢市間明町2-100
富　　山	(076) 422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福　　井	(0776) 53-7134	〒910-0834	福井県福井市丸山1-1002
津	(059) 236-5195	〒514-0111	三重県津市一身田平野285-2

お客さまご相談窓口（つづき）

近畿地区			
大阪	(06) 6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大阪東	(072) 965-1811	〒578-0903	大阪府東大阪市今米2-3-29
大阪南	(06) 6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14三洋ビル2F
阪和	(072) 221-8571	〒590-0026	大阪府堺市堺区向陵西町2-1-24
京都	(075) 672-0877	〒601-8135	京都市南区上鳥羽石橋町8 NTTコミュニケーションズ京都南ビル
福知山	(0773) 24-3405	〒620-0062	京都府福知山市和久市町290 和久市岩堀ビル2階
奈良	(0744) 22-7888	〒634-0817	奈良県橿原市寺田町113-1
滋賀	(077) 514-2221	〒524-0021	滋賀県守山市吉身4-1-24 南井産業第3ビルB棟
和歌山	(073) 473-7112	〒640-8301	和歌山県和歌山市岩橋1636-1
神戸	(078) 651-3951	〒652-0813	兵庫県神戸市兵庫区兵庫町2-2-18
阪神	(06) 6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫路	(079) 282-7892	〒670-0943	兵庫県姫路市市之郷町1-9
淡路	(0799) 42-6015	〒656-0478	兵庫県南あわじ市市福永536-1

中国地区			
広島	(082) 293-6511	〒733-0012	広島県広島市西区中広町2-1-2
福山	(084) 954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡山	(086) 245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
鳥取	(0857) 24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
松江	(0852) 23-1183	〒690-0044	島根県松江市浜乃木2-15-3
山口	(083) 973-3391	〒754-0024	山口県山口市小郡若草町2-6

四国地区			
松山	(089) 979-3486	〒799-2655	愛媛県松山市馬木町274
四国中央	(0896) 23-3416	〒799-0404	愛媛県四国中央市三島宮川2-732-4
高松	(087) 843-1840	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1657-1
高知	(088) 831-2570	〒780-8007	高知県高知市仲田町6-12
徳島	(088) 699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1

お客さまご相談窓口（つづき）

九州地区			
福岡	(092) 441-2541	〒812-0016	福岡県福岡市博多区博多駅南4-6-23
久留米	(0942) 37-3934	〒830-0038	福岡県久留米市西町105-18
北九州	(093) 521-5286	〒802-0004	福岡県北九州市小倉北区鍛治町2-4-7
長崎	(095) 813-3545	〒851-0101	長崎県長崎市古賀町1006-5
佐世保	(0956) 31-7635	〒875-1162	長崎県佐世保市卸本町17-1
熊本	(096) 388-3434	〒861-8045	熊本県熊本市小山3-2-11 熊本トラックターミナル内
大分	(097) 543-3454	〒870-0829	大分県大分市椎迫5-6
宮崎	(0985) 29-3441	〒880-0022	宮崎県宮崎市大橋3-224
鹿児島	(099) 251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10

沖縄地区			
沖縄	(098) 944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売（株） サービス部

（270208K）

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

製品保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書101ページ記載内容で無料修理をおこなうことを約束するものです。詳細は101ページをご参照ください。

品　名		ステレオデジタルボイスレコーダー
品　番		ICR-PS185RM/PS182RM
保証期間		お買い上げ日から **本体1ヵ年**
※お買い上げ日		年　　月　　日
お客さま	ご住所	
	お名前	様
	電話　（　　）　　—	
※販売店	電話　（　　）　　—	

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー　国内販売担当

〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号

ユーザーサポートホームページアドレス　http://www.sanyo-audio.com/support/index.html

(JP1)

1AJ6P1P0028--A